



# 三次中央会報

ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19  
 TEL (0824) 64-1245  
 FAX (0824) 64-1245  
 E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp  
 http://mcrc.server-shared.com

例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1  
 三次グランドホテル

例会日 / 月曜日 12:30~13:30

2025-2026 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

■本日のプログラム 「三次高校の職場体験について」中島会員  
 / 青少年奉仕委員会

■次回例会日時 2026年2月16日(月) 19:00~

■次回プログラム ゲスト講演 訪問診療グリーンクリニック  
 院長 福山耕治様 「文化・サブカルチャー  
 から見た三次の観光について」

会長 / 大井 睦子  
 幹事 / 重信 優

## ■第1484回例会記録

●日時.....2026年2月2日(月)12:30~

●点鐘.....会長

●国歌「君が代」斉唱.....全員

●ソング「奉仕の理想」.....全員

●ビジター紹介.....

西条RC/安本政基会員(レクリエーション)、西条RC/松井明彦会員(建設業)

西条RC/重田修蔵会員(運送業)、西条RC/安原亜璃佐会員(生命保険)

西条RC/廣幡勝祐会員(仏教)、西条RC/木村優一会員(不動産業)

■開会挨拶.....大井会長

## 2月は「平和構築と紛争予防月間」です

皆さん、こんにちは。

本日は、なんと6名の方が西条ロータリークラブからメーキャップでお越しいただきました。ようこそいらっしゃいました。ありがとうございます。

本日配布のロータリーの友誌横組み13ページに、和田会員が投稿された平田会員の記事が掲載されています。皆さん、是非ご覧ください。

そして、後半のプログラムは公共イメージ委員会担当です。後ほどよろしく願いいたします。

さて、国際ロータリーにおける2月は、「平和構築と紛争予防月間」です。この月間は、世界各地で起こる紛争や対立の背景に目を向け、暴力に頼らない方法で平和を築くことの重要性を考える機会として位置づけられています。ロータリーは創設以来、国や文化、宗教の違いを超えた相互理解と友好を基盤に活動してきましたが、平和構築はその理念の中核をなすものです。

紛争は突然起こるものばかりではなく、貧困、教育格差、資源不足、差別や不平等といった社会的課題が複雑に絡み合って生じます。ロータリーではこうした根本原因に取り組むことで、紛争を未然に防ぎ、持

続可能な平和を実現しようとしています。具体的には、教育支援や識字率向上、清潔な水と衛生環境の整備、地域経済の活性化など、地域社会の安定と自立を支える活動を世界中で展開しています。

また、ロータリー平和センターの存在も重要な取り組みの一つです。ここでは、平和と紛争解決を専門的に学ぶ人材を育成し、卒業生は国連や政府機関、NGOなどで調停や復興支援に携わっています。彼らは現場で対話と理解を重ね、対立する人々の架け橋となる役割を果たしています。

平和構築と紛争予防は、遠い国の問題ではなく、私たちの日常にも通じるテーマです。身近な地域や職場、家庭においても、相手を尊重し、対話を重ねる姿勢が小さな平和を生み出します。2月のこの月間を通じて、ロータリアンの一人ひとりが平和への担い手であることを再認識し、行動につなげていくことが求められています。



■バナー交換.....



■幹事報告.....重信幹事

- 本日は西条ロータリークラブより安本会長ノミニーをはじめ6名の会員の皆様にお越しいただいています。後ほどバナーの交換をしていただきます。
- 会報並びにロータリーの友誌を配布しています。横組13pに和田会員が投稿された平田会員の記事が掲載されています。ご覧ください。



- 米山奨学会、ロータリー財団寄付の領収書をお手元にお届けしています。
- マイハートコンサートのご案内を回覧しています。
- 小根森ガバナー年度組織発足会の出欠を回覧しています。
- 本日19:00よりグランドホテルにおきまして理事役員会を開催します。

■出席報告.....中西委員長

- 第1481回 12月22日

会員数	32名	Make-up	1名
欠席	4名	出席合計	29名
欠席者のうち規定免除	0名	出席率	90.63%

- 第1483回 本日の出席は32名中28名です。

■小根森ガバナー年度上田代表幹事.....

西条クラブの皆様ようこそおいでくださいました。  
2027-28年度小根森ガバナー年度組織発足会を2月20日、当グランドホテルにて開催いたします。出欠の締め切りは来週月曜日です。本日出欠表を回しますのでよろしくお願いいたします。

■社会奉仕委員会myさくら担当.....安藤会員

2月8日(日)寒肥の予定です。13:30myさくらロー

ドの入り口にお集まりください。多少の雪でも実行します。

■ひまわりの会ご案内.....中西会員

先週もご案内いたしました。再度のお誘いとお願いです。2月22日(日)ホテルグランヴィアで10時30分よりひまわりの会が開催されます。

基調講演はテレビドラマ「ファーストペンギン」のモデルになられた方です。興味深いお話が伺えると思いますので、男性の方もご遠慮なくどんどご参加ください。

先週締切を1月30日とご案内しましたがもうしばらく延長しております。

■SAA.....圓道SAA

- 会員ニコニコBOXへご出宝

大井君 西条RCの皆様。ようこそいらっしゃいました。本日はよろしくお願ひいたします。

小根森君 西条RCの皆様、ようこそお越しくださいました。(大口)

平田君 ロータリーの友誌に拙い寄稿が掲載されました。(大口)

前田君 担当例会です。安藤先生よろしくお願ひします。平田先生、和田さん、友誌掲載、おめでとうございます。(大口)

安藤君 みよしモノケ禁煙物語紙芝居の発表をさせていただきます。

和田君 担当例会。紙芝居をさせていただきます。

池田君 西条RCの方々をお迎えして。禁煙紙芝居よろしくお願ひします。

「西条RCの皆様をお迎えして」

村竹君、沖君、信国君、杉谷君、酒井君、和田君、中西君、沈君、上田君、野村君、重信君、光永君、山縣君、山崎君、圓道君

ニコニコBOX本日出宝額 34,000円



村竹モコです。  
7歳の男の子です。  
毎日ジーンを  
連れて  
散歩してます!!



本日は公共イメージ委員会担当例会ですが、安藤会員に禁煙紙芝居について、その内容と熱意を語っていただきますので、後程どうぞよろしくお願い致します。

その前に、ロータリーの友誌をご覧ください。平田会員に会報に投稿いただいた昭和100年の記事を、和田会員が紹介する記事を、掲載頂いていますので、是非とも今、皆様頁を開いてご覧ください。平田会員は、戦争に直接参加しなかったとしてもその悲惨さを自分事として捉えられ、人生の中に背負ってこられ、お人柄とやさしさが滲み出ていると感じました。戦争が大国によって公然と行われる現在に、今一度、戦争に参加した人は言うまでもなく、そうでない人の心にも多大な影響を与えることを心に刻むべきと思います。お話しいただいた平田会員、友誌に投稿して下さった和田会員、当クラブの存在感も公共イメージも高まったと思います。誠にありがとうございました。

さて、禁煙紙芝居をなぜ公共イメージ委員会でご紹介するかというと、ロータリーの公益活動として適切だからです。医学上も禁煙が有益であることが明らかで、真実です。健康増進法でも禁止されています。情報の偏在をなくすことはみんな他のために公平です。それは周知することはみんなのためになるわけで、それがロータリーの公共イメージの向上を図ることにもつながるからです。そうすると、4つのテスト的にいえば、好意と友情を深めるかというところのつながりは、喫煙派と禁煙派ということで分断するのであれば、イマイチです。分断、差別や排除で

はなく、誰のためにでも使える知識、健康のための実践知として、吸う人も吸わない人も、余談偏見なく知っておくべきこととして、伝えることが大事だと思います。

私は、本日の卓話や安藤先生を中心としたクラブの活動が、会員間でも、クラブ外でも、是非とも、好意と友情を深める形で広がっていくことを希望します。多くのクラブでも類似の活動がされており、ざっと見た中でも、広島空港ロータリークラブで市の後援を受けて禁煙についての市民公開講座を長く続けておられたり、神奈川県の手塚ロータリークラブで「ロータリアンが知るべきタバコの真実」と題して、医師の先生が公演されたりしています。

ロータリークラブでは、中心的な活動の一つにポリオ撲滅がありますが、これは医学的な活動と言っても過言ではありませんが、禁煙活動も同様に医学的目標として、公益的なものといえるのではないのでしょうか。

当クラブでは安藤先生に熱心にいつもご指導いただいています。昨年からの振り返りですと、きんさい祭りで実演頂いた後にも、河内小学校、三次小学校で実演されています。河内小学校では、安藤、和田、池田、中島各会員と松本当時会員が、三次小学校では、安藤、和田、中島各会員と松本当時会員が担当して下さいました。

2月12日には、八次小学校で、安藤、和田、中西、宮武各会員と大井会長にご参会いただいて、実施される予定です。松本元会員もご協力を頂けるということです。私は参加できておりませんので、申し訳なく思いますが、多くの会員の皆様に活動頂き、大変心強く思います。

以上で委員長挨拶を終わります。安藤先生、そして実演される方、どうぞよろしくお願い致します。

前田剛志公共イメージ委員長

## 禁煙紙芝居の活動について

安藤 仁



発表の機会をくださった前田委員長に感謝します。

この紙芝居を作った一番の私の思いは、「大人になってもタバコを吸わないようになってほしい」ということです。

まず、この紙芝居のできた経緯についてからお話しします。昨年(2025年)3月26日(水)18時台のNHK「お好みワイドひろしま」という番組がありますが、その中で三次で永年紙芝居を作り続けている行政(ゆきまさ)豊彦さんが紹介され、その時、最近取り組んでいる作品として“禁煙・受動喫煙防止紙芝

居”が紹介されました。その紙芝居を依頼したのが私です。

みなさんお馴染みの三次が舞台の妖怪伝説「稲生物怪録」をアレンジし、主人公平太郎を論ず魔王山本(さんもと)五郎左衛門が登場、タバコに興味を持った主人公の平太郎の元に喫煙で体を痛めた妖怪が次々に現れるというストーリーです。その中味については後からの紙芝居の上演を楽しみにしていただきます。

ここで、ロータリークラブと禁煙活動の取り組みですが、2016-17年の田原榮一ガバナナーが、がん予防推進運動を強力に推し進められました。国民の半分ががんになる時代になり、予防がより大切との認識でした。

予防の 一位も タバコを吸わない、  
二位も 他人のタバコの煙をできるだけ吸わない

とされました。タバコ対策を強調される内容です。勇気づけられます。

『最初の一本のタバコに手をつけない』

タバコを吸わない、吸わされない、吸わせないという防煙タバコ教育が大切。

これが私の思いです。タバコを吸わないようにできる紙芝居を行政豊彦さんにお願ひし、素晴らしいものを作ってくださいました。なぜ紙芝居かということですが、紙芝居という手段は『印象深い啓発ツール』、また『子どもに親しみやすいツール』であります。

題材として、三次に伝えられている物語でタバコの害を絵と声で表現し、『忘れられない啓発』ができ、熱く上演する姿を見せ『我々の熱意を伝える』ことができます。更に、行政や学校行事・授業で演じることにより、それらの機関との『連携』を図ることができる と考えました。

さて、完成したもののこれをどのような方法で子どもさんたちに見ていただければ良いのかと思案しており、中央ロータリーの仲間に相談しました。それが良かった！ 今年のきんさい祭の我々のブースでやりましょう!!とご協力をいただくことができ、チーム紙芝居の仲間9人が繋がり、そのうち7名が声の出演に協力してくれることになりました。

これらの取り組みについては中国新聞に2度も掲載され市民の皆さんにもロータリークラブの活動の一端を知っていただく良い機会になったと思います。

ところが、あの暑いごった返しのきんさい祭の場でどのように上演すれば良いかと頭を悩ませていたところ、スマホのボイスレコーダーを使って4人はWEBで参加、セリフの多い3人は事務所に集合して録音。

それを上手に繋いで完成に漕ぎ着けました。

きんさい祭当日には会員が各々の得意分野を活かし、スピーカーの手配、芝居小屋風のしつらえ、暑すぎるブースに業務用扇風機、氷柱なども揃え、多くの子どもさんや親に見ていただくことができアンケートにもご協力いただきました。

その時に実施回収したアンケートの回答を集計すると、紙芝居を見た後でも小学生31%が吸う、吸うかも知れないとなり、これには問題あり!と再確認。

また、火を使わない新型タバコについてのアンケートの結果は、知らない、わからないが62%で、それがどのようなものなのか一緒に考える必要性を強く知らされました。

この紙芝居の制作、上演の一連の取り組みについては、2025年11月29日にさいたま市大宮での第19回日本禁煙学会学術総会の一般演題場で私が発表してまいりました。また、教育委員会と、この紙芝居上演の機会を市内各小学校で行なう相談をし、昨年11月6日河内小学校、12月18日三次小学校で実施することができました。小学生一人一人からの感想意見を聞くことができ、また紙芝居を見る前、見た後からのアンケートにも答えていただき、やって良かったと思いを強くしました。これからも、

『最初の一本を吸わない』ことをアピールしていきたいと思っています。

